



「すべてを力に」自分を変えて

6/11 市体育協会設立 10 周年記念講演会

市体育協会設立 10 周年記念講演会が 6 月 11 日、堀金総合体育館で開催され、市民など約 200 人が聴講しました。この日は、元女子マラソン選手で五輪メダリストの有森祐子さんが「よろこびを力に」と題して講演。有森さんは、無名の中高生時代などを振り返り、「才能に恵まれていないからこそ、さまざまな苦難や周囲の励ましを喜びにし、力に変えて自分の可能性を引き出すことができた」と話しました。また、「物事の見方を変えて、年齢に関わらず、挑戦してほしい」と会場に呼び掛けました。



おいしい玉ねぎ 袋いっぱい

6/18・19 第19回安曇野玉ねぎ祭り

第 19 回安曇野玉ねぎ祭り（実行委員会主催）が 6 月 18 日、19 日の両日、豊科と堀金地域の 14 会場で行われました。このうち熊井和雄副実行委員長（豊科）の 47 アールの畑では、来場者が、20 キログラム入りの袋いっぱいに収穫した玉ねぎを詰めていました。家族と訪れた高橋拓くん（豊科）は「玉ねぎを土から抜く感触が楽しい」と感想を述べ、熊井さんは「来場者と会話しながら販売できるのが生産者としてうれしい」と話しました。

初夏の風物詩ハナショウブを楽しむ

6/19 第 32 回信州安曇野あやめまつり

第 32 回信州安曇野あやめまつり（実行委員会主催）が、6 月 17 日から 26 日まで明科あやめ公園と龍門渕公園で開催されました。地域の皆さんが手入れをした多種多様なハナショウブの花が色鮮やかに咲きそろう、訪れた人の目を楽しませていました。

6 月 19 日にはメインイベントが行われ、あやめ公園の特設ステージでは、市消防団音楽喇叭隊や地元の児童・生徒による演奏、キッズダンスなどが披露され、多くの人でにぎわいました。



安曇野の里山の自然と文化を体験

6/18 国営アルプスあづみの公園全面開園

国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）の「里山文化ゾーン」が完成し 6 月 18 日、堀金烏川の「堀金口」で開園式が行われました。式典には、国や県、市などの関係者約 100 人が出席。開園を祝い、くす玉割りや市の木「ケヤキ」などの記念植樹が行われました。会場では来場者へ振る舞い餅が配られ、昔ながらの農器具の展示や安曇野の特産である天蚕を紹介するブースも設けられていました。

開園した部分は、約 49 ヘクタールの広さで、絶滅危惧種の蝶「オオルリシジミ」の保護区のほか、昔ながらの古い田を活用した農業体験など安曇野の里山の自然や文化を体験できるようになっています。

この日は、大町市・松川村にまたがる同公園（大町・松川地区）の「自然体験ゾーン」も同時開園し、2 つのゾーンの開園により、全面開園しました。



大きく育て 信州サーモン

6/10 信州サーモン稚魚初出荷

県水産試験場では、県のオリジナル食材の一つ、信州サーモンの稚魚の初出荷を 6 月 10 日、明科七貴の押野試験池で行いました。この日は、県内の養殖業者 4 社に計 4 万 7,500 匹の稚魚を出荷。体長 7 センチほどの稚魚は養魚場で約 2 年から 3 年掛けて育てられた後、県内外へ出荷されます。佐久市で養殖業を営む菜花 徳さんは「知名度が年々上がってきており、安定して供給できるように大切に育てたい」と話してくれました。



参議院選挙 高校生が立会人

6/26 参議院議員通常選挙期日前投票

18 歳まで選挙権が拡大されたのに合わせ、穂高商業高校の 3 年生 14 人が参議院議員通常選挙期日前投票所の立会人を務めました。

このうち 6 月 26 日には市役所本庁舎で木下真也菜さんと坂巻優美さんが投票に立ち会いました。木下さんは「若い人の投票が少ないと感じた」と話し、坂巻さんは「投票所の運営を知り、責任を持って投票したい」とそれぞれ感想を述べました。また、19 歳で有権者となり、投票した大学生の山口潤子さん（穂高有明）は「自分の義務と思い投票に来ました。比例区は政党名や候補者名が多く戸惑いました」と話しました。